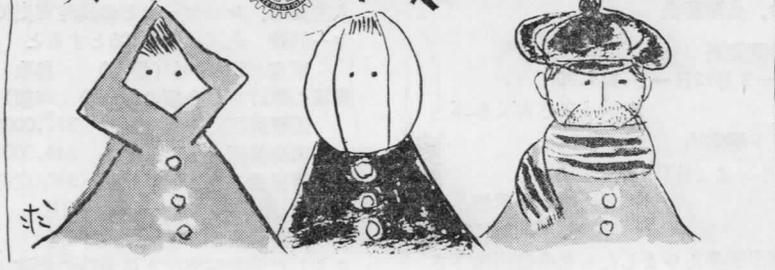


2月 会報 THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



第137回例会 1962.2.27 (火) 猛吹雪 齋藤求画伯

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次回例会

3月6日 (火)

昭和37年度

新会長、幹事、理事、会計、SAA委員名簿

○出席報告

本日の出席者 36名
出席率 75.00%
欠席者 12名
届出 佐藤貞君(病欠)、黒崎君(病欠)、石井君、金井(国)君、今間君、金井(勝)君、齋藤(得)君、佐藤(寅)君、佐藤(伊)君、無届 阿部君、福島君、長谷川君

前回の修正出席率 83.33%
修正出席数 40名
修正出席率 91.67%
メーソップ 佐藤昇君、阿部君、金井(国)君、田中君、天童 R.C

○司会 三浦会長

○ビジター

荒井 清君、立川与一君、齋藤伝八君、中村太助君 } 酒田 R.C

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○連絡事項 三浦会長

本日は臨時総会として会員におはからい致しますから御諒承お願い致します。
先般は選衡委員の推薦で会長、幹事、理事の決定を見ましたが、時日もおしせまりましたので下記役員、委員を新理事旧理事合同にて撰定しましたから御賛成をお願いすると挨拶あり一同了承し新年度役員、委員目出席度くまりました。

理事 佐藤伊和治、齋藤得四郎、今間壮太郎、小池繁治、池内方平、三浦岩治郎、張紹淵、
会長 佐藤伊和治
副会長 池内方平
幹事 三井賢二、(副)武田恒哉
会計 岡崎誠治
SAA 伊藤博司、(副)渡部勝美、(副)五十嵐三郎

クラブ奉仕委員長

池内方平

出席奨励 村田雅俊、齋藤栄作、福島芳雄

職業分類 ● 荘司繁太郎、大野武夫、小花盛雄

会報 ● 嶺岸光吉、黒崎信雄、菅原主純

親睦 ● 佐藤仁太郎、阿部公一、鷲田克己

会員選衡 ● 谷口晴敏、田中正臣、板垣清治

プログラム ● 安藤定助、海東与蔵、金井国之助

広報 ● 吉村竜次、中台吉郎、手塚林蔵

ロータリー情報

● 岩網末松、佐藤昇、早坂源四郎、津田晋介

雑誌 ● 三井徹、長谷川文清、佐藤寅之助

職業奉仕 ● 今間壮太郎、広瀬健吉、石井貞吉、金井勝助

社会奉仕 ● 齋藤得四郎、鈴木善作、飯白祐信、小池繁治

国際奉仕 ● 張紹淵、高橋泰二、三浦岩治郎、佐藤貞吾

○幹事報告

○会報到着 本庄(仮)、はにわ、東京、天童、仙台、会津若松

○例会場、及び時間変更
秋田東R.C——3月12日～P.M5.00
於 あきたくらぶ

○チャーターナイト御案内
有田R.C 5月20日(日)P.M10.00
於 有田小学校
登録料 ¥2,500

遠隔地ですが御出張等ありましたら是非御出席下さい。有田焼の本場で陶磁器工場の見学等興味ある観光が含まれています。

○その他お知らせ
県内クラブ対抗親睦麻雀大会が開かれますから御希望の向は幹事迄申出て下さい。
3月9日(金) 於 松屋旅館 ¥800

○卓話 「賃金問題について」 池内方平君
我が国に於ける企業別、地域別賃金格差と欧米との比較を主題に申し上げます。賃金に対する考え方は、欧米では労働の代償として支払うとの考えに立つてのに対して我が国では、年功序列型で労働対象よりも生活給的性格を有して居り、賞与退職金等を重く考えておる。欧米と我が国の賃金較差(我が国を100として)

国名	平均名目賃金	実質賃金	日本大企業(500人以上)名目賃金	全上実質賃金
アメリカ	900	400	580	260
イギリス	390	200	180	103
ドイツ	250	150	146	88
フランス	150	100	103	70
イタリー	150	100	92	61

実質賃金の較差では我が国はフランス、イタリー並みであり大企業に於いてはイギリス並となつている。欧米特にアメリカに比し格差の生ずる原因としては

- 1.原料燃料等の原材料を海外に依存していること。
- 2.技術革新の為の技術導入によるパテント料の負担(年間1億ドル)
- 3.技術革新の為の急速なる新設備費に対する利子負担の加重
- 4.設備規模の相違による製品のコストの較差以上の要素が商品コストの中に占める比率が高く其の為賃金コストを出来るだけ圧縮しなければならぬ。事実これまでも久しく日本の輸出産業は高い原料代金その他から来るコストの圧力を低い賃金で相殺して来たのである。

次に我が国の地域格差を見ると

地域別	高いところ	地域別	低いところ
東京	100	東京	100
長崎	117.5	山梨	55.4
福岡	116.9	山形	60.1
岩手	114.5	鹿児島	61.0
山口	113.4	徳島	61.4

次に消費生活の地域差を生む原因として34年度統計による国民1人当り1ヶ月消費支出金額
東京 7,054円(最高) 鹿児島 3,887円(最低)
都市家計に於ける1世帯当りの消費支出金額
東京 32,378円 鳥取 17,652円

以上の格差は生活必需品等の基礎支出では小さいが耐久消費財、レジャーなどの随時支出では大きい。レジャー消費 全国平均を100とすると

東京	184.4%(最高)	鳥取	53.6%(最低)
農家の家計支出金額の地域差(年額)			
近畿農区	1世帯当り	372,000円	
南海農区		243,000円	
農業従事者1人当り所得額(34年度月所得)			
北海道		194,000円	
南海農区		90,000円	

こうした産業構成比と生産性の相違が地域差を生む。以上の統計より見た地域差の生む原因として1日当り産業別従事者の所得比を見ると

第1次産業(農、水、産業)	111,000円
第2次産業(鉱、製造、建設業)	304,000円
第3次産業(商、金融、サービス)	316,000円

山形県は第一次産業が多く第二、第三が少い、いわゆる低開発地域型である。

企業者として更に考慮すべきことは

	中卒	高卒	大学卒
就職年齢	15才	18才	21才
停年年齢	55才	55才	55才
在職年数	40年	37年	34年
初任給	6,000円	9,000円	12,000円
最高賃金(初給×4)	24,000円	36,000円	48,000円

年5%昇給最高賃金に達する年限

中卒	28年	高卒	28年	大学卒	28年
----	-----	----	-----	-----	-----

全上年令 43才 46才 49才

在職中の賃金総額 8,496,000円 11,440,000円 14,260,000円

在職中賞与、退職金(1ヶ年1.5)(25%)
3,564,000円 4,860,000円 6,000,000円

総計 12,060,000円 16,300,000円 20,260,000円

年平均 300,000円 440,000円 600,000円

総評は低賃金で30年以降36年迄の生産性の高騰年53.6%に対し賃金向上年39%は不当であると今春は1年に5,000円のベースアップを唱えて居り、日経連は今秋に控えている貿易自由化に対処することゝ実質賃金では必ずしも過当に低いとはいえず、企業者として将来の世界経済の競争に対処する事を打出して居る。

労資問題益々固難になつて行くとき宜しく賃金の本質を知つて対処せねばならぬと思う。

○ニコニコ箱

早坂君 忘れものあつたそうぞ
小池君 忘れものあつたそうぞ
岩網君 欠席したので
吉村君 おくれて温海より馳けつけられ
御繁昌御苦勞さま
張君 黒崎君の快愉になるよう
三浦君 何事もなく新任者全部きまりまして

○本日の献立

さしみ、焼物(魚味噌漬、玉子焼)
お汁豚肉、ねぎ、椎茸、温海燕